

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 哲也
幹事 久米 博明
会報委員長 鬼頭 一浩

2016 ~ 2017年度 国際ロータリー ジョン F. ジャーム 会長テーマ

Rotary serving humanity 人類に奉仕するロータリー

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2947回例会プログラム

[当年度=15回目；当月=1週目]

2016年（平成28年）11月7日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事

- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)

10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/14) ……

観劇家族例会シルク・ドゥ・ソレイユ
(親睦活動委員会)

例会13:00 ~ 葵モノリス
観劇16:00 ~ 名古屋ビッグトップ
(11/21) ……

クラブフォーラム (ロータリー財団委員会)
卓話 「ロータリー財団100周年を迎えて」
講師 地区資金推進委員会

副委員長 野村紀代彦 様
(紹介者 神野 公秀 会員)

※健康診断 (職業奉仕委員会)

- 13:00 15. 本日のプログラム
バンコク・スワナブーム RC 訪問
「グローバル補助金事業報告」

スワナブーム RC

会長 Ms. Vachiraphon Chaihan

バスト会長

Mr. Yod Sangswangwatana

(グローバル補助金担当者)

刈谷 RC 直前会長 加藤 真治 会員

(紹介者 下谷 敏朗 会員)

16. 謝辞

17. 点鐘……〈会長〉

18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

ゲ ス ト

バンコク・スワナブーム RC 訪問団

会長 Ms. Vachiraphon Chaihan

直前会長 Ms. Nongnuj Rajavat

チャーター会長 Ms. Benjamas Sangswangwatana

バスト会長 Ms. Tanyanan Meksingwee

バスト会長 Ms. Trong Sangswangwatana

バスト会長 Mr. Yod Sangswangwatana

会員 Ms. Chiraparat Meksingwee

会員 Ms. Suree Sangswangwatana



出席

会員総数 95名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 84名
欠席 12名 出席率 85.71%
前々回(10/24)の修正出席率 100%

会長報告

1) 11月5日(土)、6日(日)地区大会に出席して参りました。



2) 例会前に第1回次期理事役員候補者指名委員会を開催しました。委員会において委員長盛田豊一会員に決定したことをご報告します。会員の皆様には、次年度の理事役員候補者の推薦がございましたら、12月1日(木)までに、指名委員にお申し出下さい。

2017～2018年度

次期理事役員候補者指名委員の発表

(理事申合せ事項第1条)

| | | |
|-----|-------|----------|
| 委員長 | 盛田 豊一 | (会長経験者) |
| 委員 | 杉浦世志朗 | (会長経験者) |
| 委員 | 嶋津 孝久 | (会長経験者) |
| 委員 | 鈴木 豊 | (会長経験者) |
| 委員 | 杉浦 芳一 | (会長経験者) |
| 委員 | 加藤 真治 | (直前会長) |
| 委員 | 加藤 哲也 | (会長) |
| 委員 | 橘 典子 | (副会長) |
| 委員 | 吉原 孝彦 | (会長エレクト) |
| 委員 | 久米 博明 | (幹事) |
| 委員 | 出口 達也 | (副幹事) |

以上11名

会員の皆様には、次年度の理事役員候補者の推薦

がございましたら12月1日(木)までに、指名委員にお申し出下さい。

幹事報告

1) End Polio Now「歴史に1ページを刻もう」キャンペーンの感謝状が届きました。地区大会にて贈呈されました。

委員会報告

●親睦活動委員会

1) 11月14日の観劇家族例会に92名の登録頂きありがとうございます。バスを利用される方は商工会議所を11時30分に、角文さんを11時40分に出発します。例会は13時開会となります。

会長あいさつ

加藤 哲也



まず先もって国王のご崩御、心からのお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。

私は今年9月、税理士会の関係で沖縄へ出張した折、泡盛造りの体験をして来ました。暮れには私が自身で造った顔入ネーム入の泡盛が届く

予定です。こんな体験もよろしいですね。その時、米がどこからという私の質問に殆んどタイ産であるという細く少し長めの米である。

日本とタイ両国の間には、長い歴史があります。600年以上前、まだ「シャム」と呼ばれていたアユタヤ王朝と琉球王朝の間には、貿易船が頻りに往来し、交流が盛んでした。沖縄の泡盛はもともとタイのラオロン(廊酒)を原点とするものとか。大正時代から日本政府は、「泡盛」のためタイから特別に碎米の輸入を認めて、このタイ米と黒麹菌によってはじめて沖縄・琉球泡盛がつけられ、合致した伝統的な味になったとも言われています。

時はアユタヤ王朝後期の1600年代。駿州沼津の山田長政が朱印船に便乗してアユタヤに渡り当時ソナム王の信頼を得て日本備兵隊長として活躍していました。ソナム王の死去後の1630年政局争いの最中、反乱制圧のため赴いた南部の町で毒殺された。その後徳川幕府の鎖国の結果、日本人も減り日本人町も消滅した。長政の話は、アユタヤを拠点に国際貿易を行い、アユタヤがたいへん繁盛した証であるとして今でも中学生の歴史教科書に記されている。

アユタヤ王朝から約300年後、日本では明治の後期のバンコク王朝時代、日タイ関係史のなかで名を残している人物がもうひとりいます。愛媛県の法律の専門家、政尾藤吉がその人物です。公使の招きでタイに渡りタイ刑法の基礎をつくり貢献した人である。日本に帰国して代議士をつとめた後、1920年再び駐在公使としてタイに赴

任し、現地で脳溢血で死亡しています。

日本の外務省発表の「日本に関するアセアン6ヶ国の世論調査」によればタイ人の約89%が日本を友好国と見なしているとして大変対日感情が良好である。日本はアジアの一国としてアジア発展に積極的な役割を果たしているとの評価である。長い歴史のなかで培われてきた交流から生まれたと思われる。

本日はタイのスワナブーム RC の皆さんをお迎えしての例会、大変うれしく心より歓迎申し上げます、私のあいさつと致します。

お 祝 い

11月の会員の誕生日…加藤哲也、小河俊文、河内利夫、鈴木一正、丹羽克誌、菅野貴之会員。

配偶者の誕生日…霜出恵子（俱弘）、神谷登志子（光義）、堀康子（正剛）、太田典子（宗一郎）、鈴木友子（一正）、岩瀬昌子（正人）、市川嘉子（裕大）、深谷眞理（嘉英）、山本桂子（善明）、關香（淳之）様。

結婚記念日…平野和一、羽田育哉、霜出俱弘、塚本幸夫、竹内一正、岩瀬正人、鈴木文三郎、小川耕示、後藤直樹、佐野彰彦会員。

11月度入会記念日…堀正剛、大音祖瑛、山下雅則、吉岡秀記会員。

バンコク・スワナブーム RC 訪問

「グローバル補助金事業報告」



会長 Ms. Vachiraphon Chaihan

Mr. Yod Sangswangwatana

President Kato, Fellow Rotarians and Honor Guests:
加藤会長、ロータリアンの仲間たち、ゲストの皆さんこんにちは：



My name is Yod Watana, a Past President of Rotary Club of Bangkok Suwanabhum, District 3350. We are a small and young Club in the District, chartered in the year of 2001.

私の名前はヨド・ワタナです。第3350地区のバンコク・スワナブーム RC のパスト会長です。我々のクラブは、2001年に設立された小さくて若いクラブです。

However, our Charter President, who is my Mother, she is not new in Rotary. She is the Rotary Ann of my Dad (of course), who was the 2nd Past President of Rotary Club of Dhonburi and helped him a lot to charter the Club together with the *Past RI President Bhichai Rattakul* nearly 60 years ago.

しかしながら、チャーター会長である私の母は、ロータリーとは長い縁があります。彼女は、ロータリアンである私の父の（もちろん）配偶者です。私の父は、およそ60年前に RI のパスト会長ビチャイ・ラタクル氏と一緒にドンブリ・ロータリークラブの設立に奔走し、2代目の会長になったのですが、母は、その父をととても良く助けました。

Though we have only 16 members right now. But most of our members always active in important projects and have been appointed to key positions in District level every year for the last ten years, e.g. one was District Secretary (for two terms), some were Assistant Governors, some were District Chairs of various Committees, numerous are District Subcommittee Chairs or Committees.

我々のクラブには、現在16名の会員しかいません。しかしながら、会員のほとんどは、重要なプロジェクトに対して常にアクティブで、過去10年間に地区レベルにおいても毎年重要な役割を果たしています。即ち、2期にわたって地区幹事を務めた人もいますし、ガバナー補佐を務めた人もいれば、様々な地区委員会の委員長を務めた人もいます。ほとんどの人は、地区小委員会の委員長や委員を務めています。

We contacted Rotary Club of Kariya by kind introduction of *Ms. Mio Kato*, whom we are her Host Club and Counsellor on her Master Degree study in Bangkok. Nearly a year ago, Members of your Club visited us in Bangkok and witnessed the vaccination by themselves.

我々が刈谷 RC とコンタクトを持ったきっかけは、バンコクで修士課程の留学生であり、我々がホストクラブとカウンセラーを務めていた加藤美生さんの親切な紹介があったからです。今からおおよそ1年前に、貴クラブの会員6名がバンコクを訪れ、ワクチン接種の現場を確認していただきました。

The Global Grant has made the 3rd Vaccination Project to be one of the most successful Vaccinations. During the year, this project was chosen as one of the two Distinguished Service Project of the District. And at the end of the year, this project was declared

in District Conference to win the *Phraya Srivisarvaja Trophy*, which awarded to the Club with the most outstanding in one of the service activities in the year of 2015-16. Most importantly, we cannot achieved those honors without the support from the Rotary Club of Kariya.

グローバル補助金による3回目のワクチン接種プロジェクトである今回は、最も成功したものになりました。この年度にこのプロジェクトは、地区内で最も優れた奉仕プロジェクトの2つのうちの1つに選ばれました。そして、年度の終わりには、このプロジェクトは地区大会において、フ Raya・スリビサルンバヤ・トロフィーを受賞しました。この賞は、2015-16年度における最も優れた奉仕活動を行ったクラブに授与されるものです。最も大切なことは、刈谷ロータリークラブのサポート無しには、我々がこの栄誉を受けることは出来なかったということです。

As presented earlier in District Conference, 12 Thai women died everyday from Cervical Cancer Disease and each one spends not less than 1.5 Million Yen until they die. If not, they must spend more and more to survive. And each year we have about 8,000 new cases of this disease. How Rotarians could do to reduce the death or diseased rates? The Vaccination in young girls is the answer, which is proofed worldwide.

昨日の地区大会でも述べたように、子宮頸がんによって毎日12名のタイ女性が命を落としています。彼女たちは亡くなるまでに一人当たり150万円以上の医療費を使っています。もし亡くならなくても、彼女たちは生きるためにより多くの医療費を使わねばなりません。そして、毎年この病気により新たに8,000人の患者が発生しています。ロータリアンはどの様にしたら、致死率や罹患率を減少させられるのでしょうか？若い女性に対するワクチン接種が答えなのです。それは、世界中で認められていることなのです。

This project initiated by one of our *Past President, Flight Lieutenant Medical Doctor Saisawat Rojanaprasertkit*. We wish she could be here to speak with you by herself so she can hear your applaud and get the honor of her own. But she is so busy in Serving Humanities and ask me to express how she appreciate your kindness to make her dream comes true.

このプロジェクトは、我々のパスト会長の一人である、空軍大尉であり医学博士のサイサワット・ロアナプラセルキット女史によって始められました。彼女が今日この場において、直接お話することが出来れば、皆様の拍手を聞くことができ、彼女自身の栄誉を受けることが出来たでしょう。しかしながら、彼女は人道的な奉仕活動のため、忙しすぎて来ることができず、私に皆様の親切のお陰で彼女の夢が実現できたことに感謝している気持ち

を伝えるように託したのです。

Please remember that your kind donation of 5.6 Million Yen have protected more than 700 schoolgirls for the next 30 years from this serious disease. Your kind donation will make more than 7,000 people who are families of those girls happy and worry-free of the disease for the next 30 years. Your kind donation will save more than 1,000 Million Yen of Medical Treatment Expenses in the next 30 years. What a wonderful donation? What a worthwhile and valuable merit you have Serving the Humanities? All of you have made this good project become real.

皆様のお陰で使えた560万円の補助金事業によって、向う30年間にわたってこの重篤な病気から、700人以上の女子生徒を守ることが出来たことを知ってください。皆様の善意の寄付金のお陰で、向う30年間にわたってこれらの女子生徒のファミリー7,000人以上の人々を幸福にし、病の恐怖から逃れさせることが出来たのです。皆様の善意の寄付金のお陰で、向う30年間にわたって10億円以上の医療費の支出を抑えることが出来たのです。何と素晴らしい寄付でしょうか？皆様の人道的な奉仕活動は、何と立派で価値のあるもののでしょうか？皆さん全員がこの素晴らしいプロジェクトを実現したのです。

Right now, more than 2,000 schoolgirls are being protected from Cervical Cancer. More than 1,500 schoolboys and teachers are educated about the cause of Cervical Cancer and how to prevent themselves. Boys learn that they are the carrier of the HPV or this Human Papiloma Virus and they can also effected by the virus too.

今までに2,000人以上の女子生徒が子宮頸がんから守られています。1,500人以上の男子生徒と先生たちが子宮頸がんの被害について教育され、彼ら自身がどうしたら防ぐことができるかを学びました。少年たちは、彼らがHPVやヒト・パピロマ・ウィルスの保菌者であったり、感染を受ける可能性があることを学びました。

Apart from the vaccinations, we also insist them to be good behaved, grateful to their parents, teachers and families. They should follow the *"Economy Sufficiency Theory"* of our *Great King Rama the IX*. Until now, not even single girl has any bad effect from the vaccination. And the good news recently announced is that: From now on, the Anti-Cervical Cancer Vaccine is listed as the National List of Vaccines, which will provided free-of-charge to all Grade 5 schoolgirls in the system.

ワクチン接種のことを離れても、我々はまた彼らに、良く振る舞い、両親や先生や家族に対して感謝するように主張しています。彼らは、偉大なる国王ラマ9世の掲げた“経済充足理論”に従う必要があります。現在に至

るまで、ワクチン接種によって一人の女性も悪い影響(副作用)を受けていません。そして、最近良いニュースが発表されました。それは：今後、抗子宮頸がんワクチンが、ワクチンの国家リストに登録され、システムによってすべての5年生の女子生徒に無料で接種されることになったという事です。

From now on, we have protected more than 2,000 lives from the 2nd deadly diseases in Thailand, we will make more than 20,000 people happy and we will save 3,000 Million Yen of the Medical Treatment Expenses for the next 30 years. We will always remember your kindness in our heart.

今後我々は、タイで2番目の死に至る病から、毎年2,000人以上の命を救うことが出来ます。今後30年間にわたって、毎年2万人以上の人々を幸せにし、毎年30億円以上の医療費の支出を減少させることが出来ます。我々は、皆様の親切を決して忘れることはありません。

However, we believe there still are some schoolgirls who are not protected but needed to. As Rotarians, Serving Humanities, we leave no one behind. We are cooperating with many Clubs in District 3350 to continue these projects for at least a year. And we would be more than pleased if you would join us to "Leave No one behind" once again too.

Arigato kosaimasu

しかしながら、未だに守られる必要がありながら、守られていない女子生徒がいます。ロータリアンとして、人道的奉仕活動として、一人も置き去りにはしません。我々は、3350地区内の様々なクラブと協力して、これらのプロジェクトを今後とも続けていきます。もしも皆様が、“一人も置き去りにしない”ために今一度、協力していただければ、これ以上の喜びはありません。

ありがとうございます。

グローバル補助金事業「子宮頸がん予防キャンペーン」の最終報告

刈谷 RC 直前会長 加藤 真治



まずは、昨年グローバル補助金事業の視察に訪れた際、我々6名を歓待して戴いたバンコク・スワナブームロータリークラブの皆様に深く感謝申し上げます。そして今回の刈谷ロータリークラブの例会に参加されました8名の方々を心より歓迎致します。また、グローバル補助金事業の成功へのご尽力に対しまして感謝申し上げます。

この事業の目的の1つは、8つの小学校などで児童、先生、児童の親にたいして子宮頸がんがどのように発症するか、発症したらどうなるかなどの子宮頸がんについての知識を得て戴くことで、2つめは、その学校の女子

児童約700名に子宮頸がんワクチンを2回接種するというものです。

1回目は、昨年10月、11月に実施され、2回目は今年の5月、6月に実施され、成功裏に完了いたしました。

バンコク・スワナブームロータリークラブにとりましては、この補助金事業は台湾、韓国に続く3回目の取り組みでしたが、この継続して行うということが評価されフラヤ・スリビサルンバヤ・トロフィーの受賞につながったものと思っています。また、小学校5年生の女子児童全員に子宮頸がんワクチンの接種が国家プロジェクトとして決まったとお聞きして嬉しくおもいます。おめでとうございました。

最後に、この補助金事業にたいして仲介をしていただいた財団奨学生の加藤美生さんとこの事業の始まりから最終報告まで尽力いただいた元国際奉仕委員長の鈴木文三郎会員に感謝申し上げます。